



# 創誠健和



旭川中学校 学校通信 12月号

鹿児島県南さつま市立加世田中学校 令和6年12月25日発行

## 姉妹都市交流

旭川市と鹿児島県南さつま市が姉妹都市であることを知っていますか？日本地図で位置を確認すると九州の右図の場所になります。毎年、旭川市で開催されている「食べマルシェ」や「冬まつりの雪像づくり」に南さつま市が参加していることに気づいている人はいますか。

今回、南さつま市立加世田中学校の先生が、旭川市内の中学校ホームページを見ている中で、加世田中学校の取組と共通点が多くある教育活動を行っているということで、旭川中学校に目がとまり、「学校交流をしたい」とお誘いのお声がけをいただきました。



最初は生徒会活動の交流からスタートして、少しずつ交流の内容を広げていく予定です。

13日(金)の放課後、旭川中の生徒会本部役員3名が、加世田中学校の生徒会役員等とオンラインで交流を行いました。両校の生徒会活動の取組や地域の特徴などについて40分程度、活発な交流ができました。

タブレット端末が全国の小中学校に整備されたことで、簡単に北海道と九州をつないだリアルタイムな交流ができるようになりました。これも文部科学省が推進しているGIGAスクール構想\*の成果の一つです。

旭川中学校との交流の様子は、加世田中学校のホームページでも紹介されています。関心のある方は、右側のQRコードよりご覧下さい。また、加世田中学校がどのような学校なのかは、具体的には分かっていませんので、今後の交流の楽しみにしておきたいと思います。



加世田中HP

\*GIGAスクール構想:学校教育における ICT 環境の充実を図り、教員や児童生徒の力を最大限に引き出すことを目指す取り組みのこと



## 市長に表敬訪問

学校通信10月号でも紹介しましたが、吹奏楽部が10月に茨城県の水戸市で開催された東日本学校吹奏楽大会で1位金賞を受賞しました。12月5日、この喜ばしい結果を旭川市の今津市長さんに報告するため、旭川市総合庁舎を訪問しました。部長の齊藤光さんから市長にこれまでの練習の成果と当日の熱い思いを報告しました。この様子は北海道新聞でも記事として取り上げていただきましたので、お読みいただいた方も多くいらっしゃると思います。

今回、東日本学校吹奏楽大会に出場するにあたり、部活動後援会が主体となって、応援Tシャツやタオルの販売をして遠征費をまかなうことができました。また、同窓会や市民委員会、小・中学校の保護者の方から寄付金もいただいています。

吹奏楽部が積極的に地域のお祭りやイベントに協力していることで、地域から愛され、応援される部活動に育っています。



## 中1ギャップ解消の取組

# 小中児童生徒交流会

本校は、小中一体型校舎の特色を最大限に生かし、年間を通して小学校との様々な交流を行っています。

今回は、中学校1年生が小学校6年生に対し、仲間としてよりよくサポートをする交流を通して、学びや気づきを得ながら効果的なキャリア形成につなげることを目的として取り組みました。この取組は、小学校の参観日として公開し、6年生の保護者にも活動の様子を見てもらい、6年生が中学生に進級するにあたって、どのような不安や心配事があるのか？その解決法や中学校の様子は実際どうなのか？児童生徒の生の声を聞いてもらい、保護者の皆様にも安心して中学校に進学させることができる心の準備をしてもらいたいと期待して企画しました。



	<b>児童目標：「中学校生活に向けた不安や悩み」を先輩に質問して解決につなげよう！</b>
6年生	○中学校進学に対する不安や悩みの解消につなげる。 ○中学生がロールモデルとなることで、感謝の気持ちが強まり、中学進学への希望につなげる。 ○中学生との交流を通して、なりたい中学生像を明確にし、それに近づくために、何が必要かを考え、自己を成長させようとする意欲をもたせる。
	<b>生徒目標：6年生の「中学校生活に向けた悩み」にバシッと答えよう！</b>
中1	○小学生の質問に答えたり、自分の経験を小学生に伝えたりすることで、自己有用感を高める。 ○小学生の質問に答えることを通して、自らの学習や生活を見つめ直し、自分自身のよりよい生き方について考えさせる。

さて、6年生は交流会を終えて、中学校への進学に対する不安や悩みが軽減される一方で、希望や期待感が高まっていることを期待しています。

## 非行防止教室



### ～SNS等のネット上におけるいじめの未然防止～

今やSNSや動画サイトは、日々の情報収集やコミュニケーションに欠かせないツールとなっています。しかし、その便利さと同時に、事実に基づかない情報や虚偽の内容が広がるリスクもあります。

本校では未然防止のため、全校生徒を対象に、旭川東警察署の警察官に講師を依頼し、「SNSの利用に起因する子どもの犯罪被害防止」を演題とした講話をしていただきました。今回の講演では、主にSNS等のネット上におけるいじめの未然防止について事例を紹介しながら、情報モラルについて学ぶ機会になりました。今年度、何度も学校から保護者の方に連絡させていただいていますが、学校でSNS利用を認めているのは、「家庭との連絡用」のみです。友達同士等でのSNS利用は禁止しています。それでもすでに、SNSが原因でトラブルになった生徒指導事案が数件起きています。ネットに関するトラブルは、学校では解決が困難な場合が多いため、警察と連携した対応になることが多いです。

また、最近では、SNSや動画サイトの『嘘』の情報にだまされ、気づいたときには犯罪行為に巻き込まれていたという若者の被害が急増しています。冬休み中は、各家庭の室内で過ごすことが多く、ネットゲームやYouTubeなど、ネットの利用時間が増えるのではと予想しています。だからこそ、ご家庭で、ネットに広がる嘘の情報と危険性について、ご一緒に考える機会としていただきたいです。後日、マチコミで資料を配信します。

《北海道教育委員会ネットトラブル未然防止のための総合ヘルプサイト》

<https://webreport.public.ptw.jp/hokkaido/helpsite/>

**【緊急メール】** 生徒の命に関わる事故・入院等のみに使用 ※感染症は連絡不要です

〔学校閉庁日期间：12月29日（日）～1月3日（金）〕

[kinkyu@asahikawa.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp](mailto:kinkyu@asahikawa.jhs.asahikawa-hkd.ed.jp)

《送信時には、下記の内容を連絡してください》

①〇年〇組 生徒氏名 ②簡単な状況説明 ③返信連絡先の携帯番号

